

「高校に入って初めての考査が終わりました」

中間考査が終わり、それぞれの科目から皆さんのもとに点数が返ってきたことと思います。自分の想像より点数が良かった生徒はかなり喜んでたと担任の先生方はおっしゃっていました。しかし、点数にショックを受けている生徒も一方でいます。

どの先生も、最初の考査なので、生徒には過剰に慢心したり、落ち込んでほしくないとおっしゃっています。特に、今後たくさん考査を受ける皆さんにとっては、たったの一回の成功体験または失敗体験です。これからいくらか良くなったり、悪くなったりを経験する可能性があります。それよりも考査を通して、一定期間での頑張り方や結果を次につなげるにはどう振舞うべきかを学んでくれる方がずっと大切だと思っています。

今回の結果を受けて、どのように頑張るかを先生方が示して下さいます。

答案を次々に
受け取る生徒たち
のイラスト

Q 中間考査を終えて、気を付けるべきことはありますか？

中間考査で取りこぼした内容を克服しないと、すぐ次の期末考査を含めて、これ以降で大失敗する可能性がありますよ。ほとんどの教科では、前回学習した内容が下敷きになって、新たな知識を積み重ねる構造になっていますから。何を理解できていないかが分かるということは、未来の「分からない」をなくせる可能性があります。未来の失点を防げるのです。

Q 憶えないといけなことが増えました。定着させたい場合はどうすれば良いでしょうか？

記憶の忘却曲線というものをご存じでしょうか。エビングハウスという学者が発表した研究成果ですが、初めて憶えたものが時間の経過と共にどのくらい記憶から失われるかを示したグラフがあります。(実際には、一度学習した内容をもう一度覚え直すのにどれくらいの短い時間で済んだのか、を明らかにしたものらしいのですが…)

エビングハウスの忘却曲線のグラフの図

とにかく、記憶は憶えた瞬間から大量に失われていきますので、繰り返し復習することがと

ても大切なのです。

完全に覚えるまで繰り返す粘り強い努力ができるかの問題です。…というときあきらめなくなる人も出てきそうなので、もう少し希望の持てる方法を紹介します。

人にはそれぞれ、記憶をするのに優位な脳の処理方法があるはずですが、大きく分ければ視覚優位・聴覚優位・触覚優位に分かれると思います。例えば、単語を覚えるのに何周も単語帳を眺める方が憶えられたという人がいます。一方で、とにかく声に出していた方が憶えられる人、更には書いている方が頭に入るという人もいます。どの処理方法が優位なのかを知るためにそれぞれの方法を試してみれば、自分が一番覚えられる方法が見つかるはずです。

Q 中間考査で「凡ミス」をしたと言う生徒がいますが、どうすれば直りますか？

「凡ミス」とは不注意で起こる、一時的な誤りだと思います。つまり、実は何度その問題を解いても間違える、「根本的に理解できていないから起こる誤り」とは違うということです。本当に凡ミスだったのか？根本的には理解できていないのではないかとまず、そこを明らかにしましょう。

「凡ミス」をなくす方法はあると思います。数学に関して言うと、計算速度を上げると良いでしょう。今まで、その時間で1問しか解けなかったとしましょう。今度は同じ時間内に解答だけでなく、見直しの計算までできれば、「凡ミス」は減ります。

Q 考査一週間前から考査に向けての勉強を始めれば十分だと思いますか？

毎日、コツコツ勉強していることが前提ですが、それで十分に対応できると思います。要領よく点数を取る人はもっと直前の詰め込み勉強で大丈夫と考えているかもしれませんが、短期間で覚えたものは短期間で忘れます。思考を深めながら(納得しながら)反復することが、最も成果が定着する良い勉強方法だと考えています。考査一週間前まで何もしなかった人が、その期間だけ勉強する機会を設けたとしても、不十分でしょう。

以上、年次団の先生方が様々な視点からお答えくださいました。今後の参考にして下さいね。

「教育実習が始まりました」

5月22日(月)～6月6日(火)または6月9日(金)まで、本校出身の大学生が教育実習で母校に帰っていらっしゃっています。本校は今年、合計で5名の実習生を迎えましたが、1年次には3人の実習生がいらっしゃいました。実習を終えればまた、それぞれの大学で研究の日々に戻られますが、それまでは先生方と共に本校で明南生の学校生活を見て下さり、教員としての学びや経験を積んでいかれます。皆さんの先輩として、教員を目指す者として、短い期間ですが、皆さんを支えて下さる新しい力が加わります。

実習生の先生方がそれぞれ、実習に向けての思いを文章にして下さいました。紹介します。

教育実習生紹介

教育実習生の自己紹介文

教育実習生の自己紹介文

教育実習生の自己紹介文

たら良かったこと、高校とその先の進路では何がどのくらい異なると感じるのかを感性の近い年齢の先輩方から伺いました。78 回生は、進路に関する質問への答えに、真剣な眼差しで耳を傾けたり、質疑応答ではプライベートな内容に赤裸々に答えてくれる先輩方に熱狂的な反応を示したりしていました。

後半は、高校生活に慣れつつある 78 回生に、ここ最近の学校での過ごし方で気になる部分や、気を付けた方がよい部分について、年次団の先生方の意見が伝えられました。忘れないように、簡単にまとめておきますので、今後の生活で振り返りつつ過ごしてください。

服装を正そう…ネクタイ・リボンをつけ忘れない。

交通事故に注意…5 月 29 日時点で 78 回生の自転車事故数が最多。ヘルメット着用を推奨。

イヤフォンをつけて自転車に乗らない。

防犯意識を高めて…自転車の鍵をかける。鍵を管理する。盗難に注意。

スマホ・タブレット…校内ではスマホ電源 OFF で鞆の中に入れておく。タブレットは教育活動目的でのみ使用可。

貴重品管理の徹底…校内であっても、貴重品は可能な限り手の届く範囲に置く。教室の施錠を確実にする。出しっぱなしにしない。

6 月の予定

6/1(木)	歯科検診(午前)	6/15(木)	明南祭 1 日目(リハ-ガル・全体鑑賞)
6/4(日)	英検 1 次試験	6/16(金)	明南祭 2 日目(自由鑑賞)
6/5(月)	7 校時 LHR 明南祭準備	6/19(月)	いじめアンケート配布
6/6(火)	内科検診(午後)		生徒会役員認証式(7 限)
6/7(水)	公務員対策セミナー	6/20(火)	いじめアンケート回収
6/8(木)	歯科検診(午前)		内科検診(午前)
6/9(金)	漢字検定	6/22(木)	耳鼻科検診(午前)
6/10(土)	創立記念日	6/24(土)	数学検定
6/12(月)	7 校時 LHR 明南祭準備	6/25(日)	英検 2 次試験
6/13(火)	内科検診	6/26(月)	7 校時 LHR カリキュラムガイダンス
6/14(水)	50 分×4 限、明南祭準備		

「年次集会が行われました」

5 月 29 日(月) 7 時間目に年次生徒が全員集まって年次集会が開かれました。

前半は、前述の教育実習生が生徒の前に座り、与えられたテーマについて話してくださいました。更には、現役高校一年生からの素朴な質問に答えてくれました。例えば、高校生活で力を入れて取り組んだことや、やっておい

講演中の教育実習生の写真

明石南高校ホームページ等

☆ 明石南高校ホームページ <https://www.hyogo-c.ed.jp/~meinan-hs/>

☆ 明石南高校連絡先 078-923-3617 (呼出番号 1:1 年次、呼び出し番号 6:事務室)

☆ 年次団メール akm78th@gmail.com

年次通信のバックナンバーは学校ホームページの各種通信にてカラーで掲載しています。